

しょうがつさま  
お正月様のおまつり

宮城県では、お正月様と呼ばれる五柱の御神像を神棚の周りにおまつりする伝統があります。

年末に神宮大麻と氏神さまの御札を取り換えますが、その際にお正月様も新しいものに取り換えて1年間おまつりします。

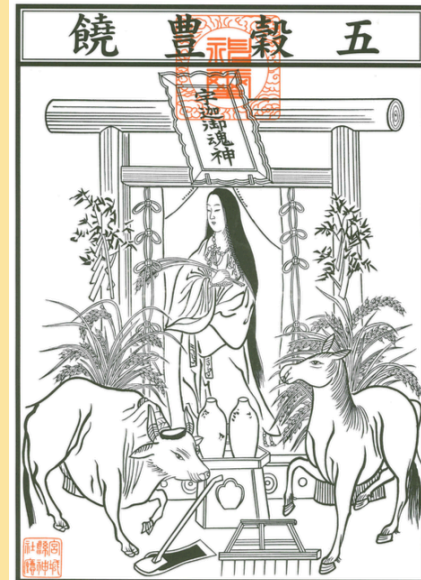
なお、おまつりをする順序は宮城県の中でも地域によって違いがあります。詳しくはお近くの神社にお問い合わせください。

お正月様と幣束

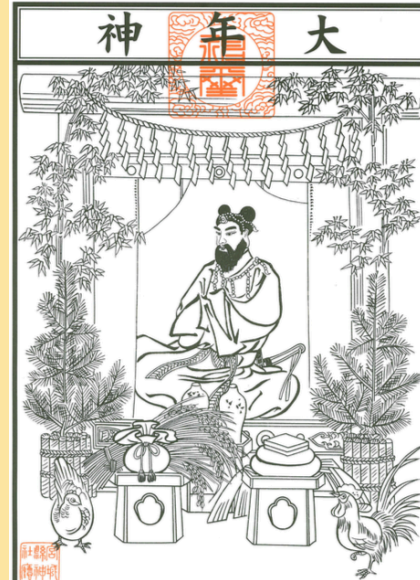
神棚周辺におまつりします。神様のお名前は右から読みます。



ことしるぬしのかみ  
**事代主神**  
エビスさまとも呼ばれ、父神である大国主神と力を合わせ、幸運をもたらし、世の産業をお守りになる神様です。



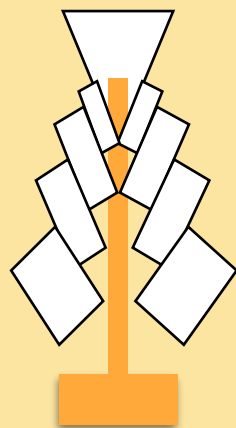
うのかみ たまのかみ  
**五穀豊穰 (宇迦御魂神)**  
穀物を育てられるなど、人々が生きていく上に欠かせない衣食住をお守りいただく神様で、生活の安泰と家屋の無事をつかさどります。



おおとしのかみ  
**大年神**  
歳徳神とも呼ばれ、一年を守り、幸運を御授けいただく神様です。



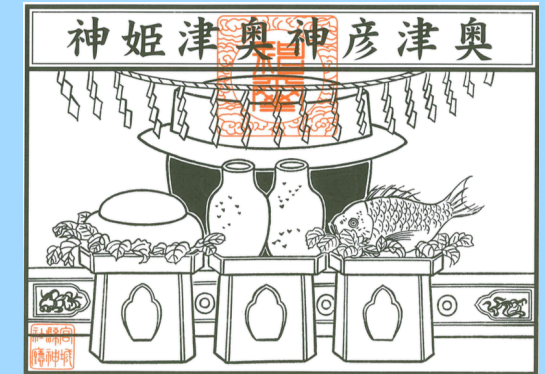
おおくにぬしのかみ  
**大国主神**  
ダイコクさまとも呼ばれ、国土の発展と、健康の増進をつかさどり、災いをしりぞけ、人々の結びつきを取り持ってくださいさる神様です。



へいそく  
**幣束**  
お幣束、御幣ともいい、古くは神様の依代よりしろとして、またお供え物としておふだの前におきました。お供えをする数は家々によって違いがあり、毎年お正月さまと一緒に白い紙の部分交換いたします。

かまがみさま  
竈神様

台所におまつりします。



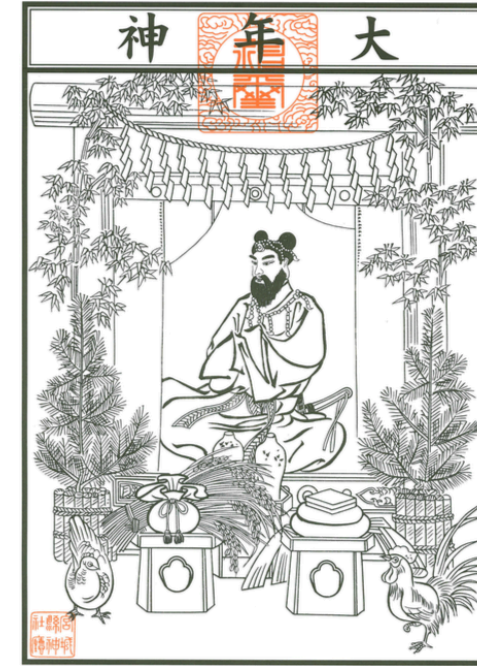
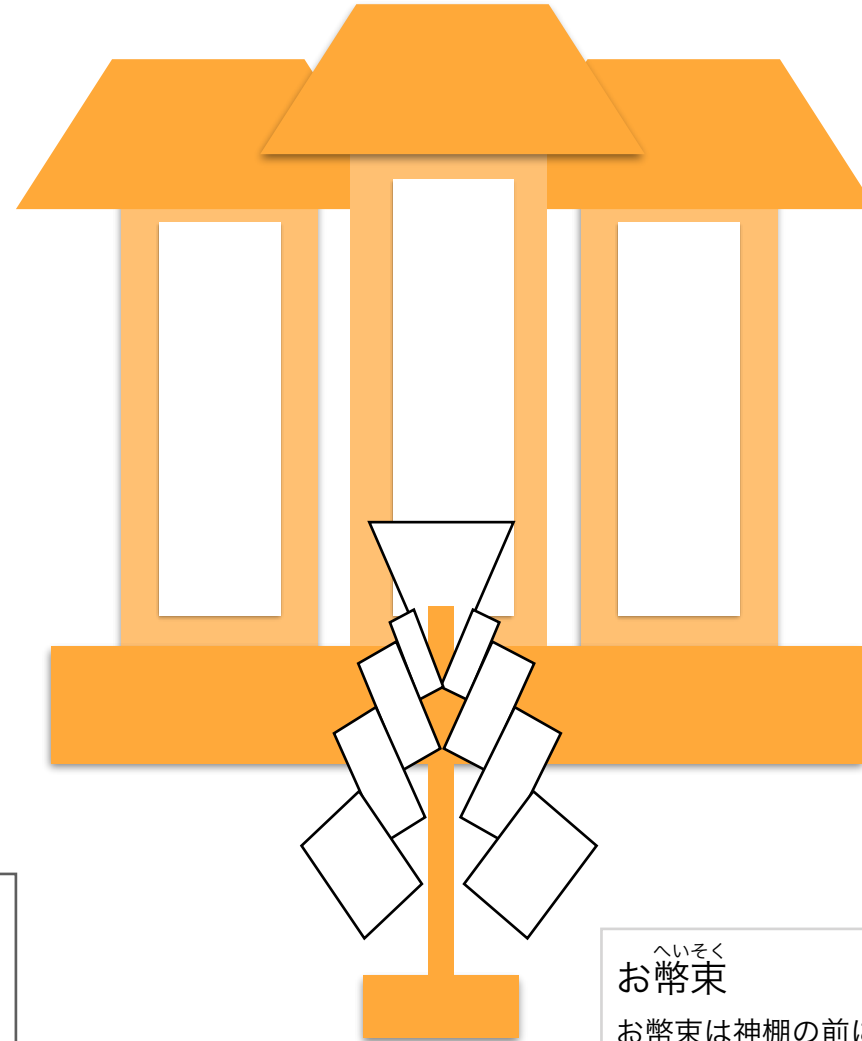
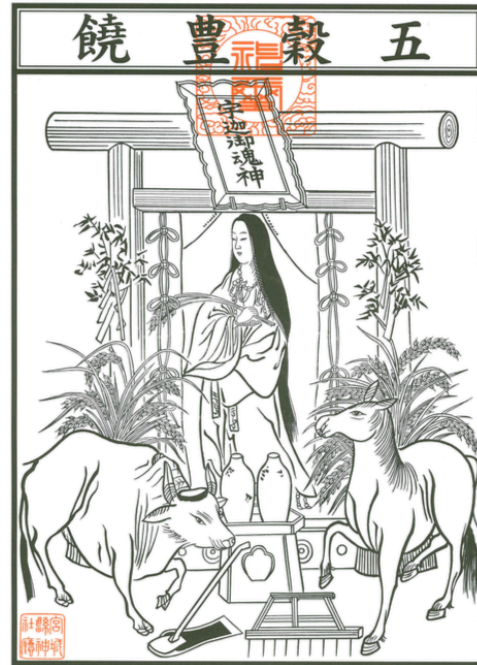
おまつひこのかみ おまつひめのかみ  
**興津彦神・興津姫神**  
かまがみさまとも呼ばれ台所を守護し、人々の生命を守り、家族の結びつきを保ってくださいさる神様です。



御神像の上部をテープやのりで壁に貼り付けてください。

①神棚の両隣にスペースのある方

東照宮周辺地域のおまつりの順序です。地域によって順番が異なります。



御神像を以下の順番で神棚の周りに貼り付けます。  
 神棚の後ろ側の壁に貼り付けたら、手前側に貼り付けたら、  
 家々によって違いがあります。迷われた時はご相談ください。

向かって左側		中央・神棚		向かって右側
事代主神	五穀豊饒		大年神	大國主神

へいそく  
お幣束

お幣束は神棚の前にお供えください。神棚がかなり大きい場合は神棚の中に納める場合もあります。毎年紙の部分を取り替えます。台や棒は古くなれば取り替えます。

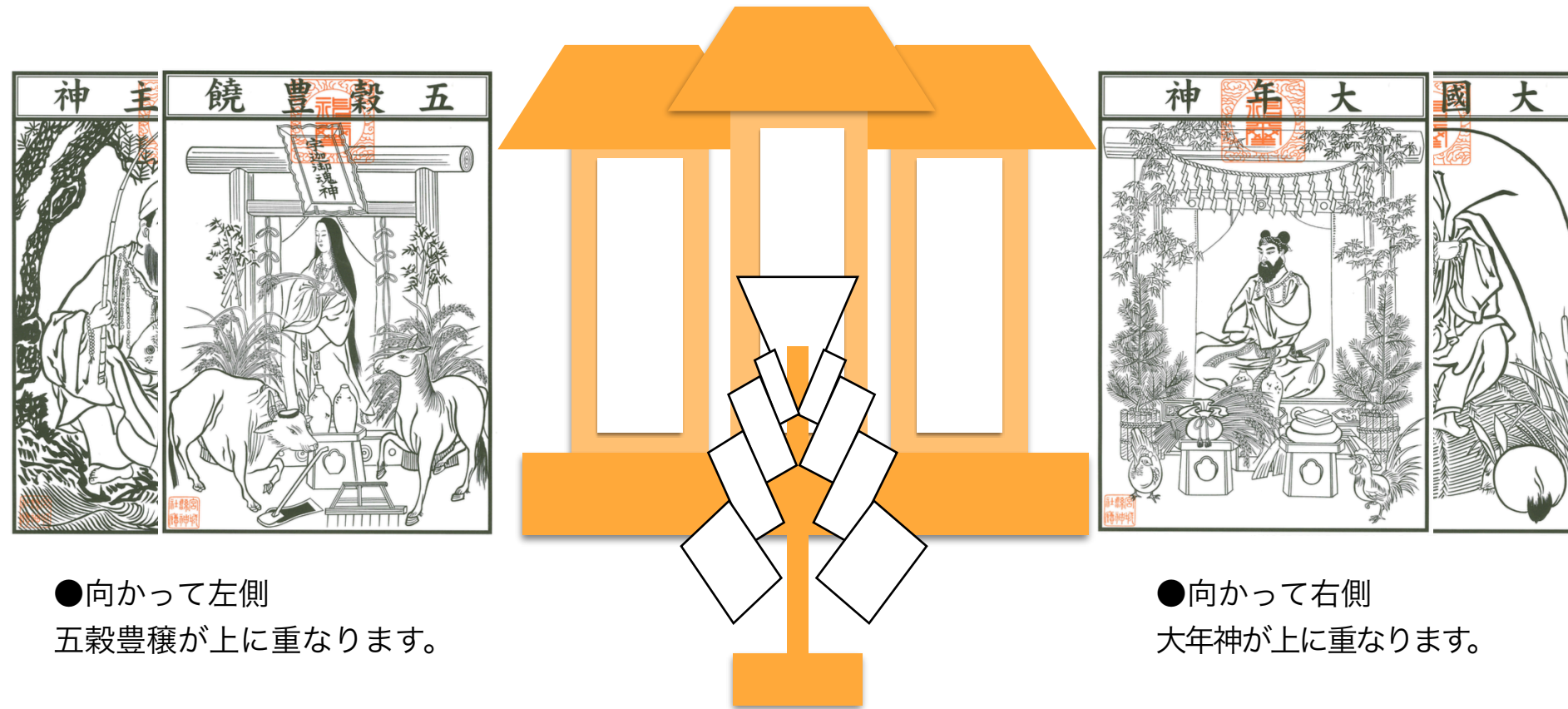


## ②神棚の両隣のスペースが小さい場合

御神像を左側、右側でそれぞれ重ねておまつりいたします。

その際、中央に近い方の御神像が上になるように重ねてください。

向かって左側では五穀豊穰、向かって右側では大年神の御神像が見えるように重ねます。



## ③神棚の両隣のスペースがさらに小さい場合

4枚の御神像を全て重ねて上部で貼り付けます。

その際の順番が手前から

- ①大年神
- ②五穀豊穰
- ③大国主神
- ④事代主神

となるようにします。

